

「江府町まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議」による 令和2年度地方創生事業の検証について

開催日 令和3年10月5日(火)

有識者

産	江府町商工会 会長	川端雄勇
官	西部総合事務所 日野県土整備局副局長 (江府町担当コンシェルジュ)	斉川泰二
学	米子工業高等専門学校 教授	加藤博和
金	鳥取銀行根雨支店 支店長	吉澤賢司
金	山陰合同銀行江府出張所 出張所長	藪木弘治
言	新日本海新聞社 西部本社 元編集委員	杉村周二

有識者からの意見

ー基本目標Ⅰ 住んでみたいまち、帰りたくなるまちづくりー

◆住まいの整備

- 空き家バンクの運営委託先と密に連携を図ること。
- 移住相談の内容を精査し、そのデータベースを活かした対策を図ること。
- 転入数と転出数の増減要因分析を行いたい。

◆にぎわいの創出

- 特になし

◆効果的な情報発信

- ファンクラブのさらなる会員の獲得に向けて、募集形態・特典など考察されたい。

ー基本目標Ⅱ すこやかでいきいき暮らせるまちづくりについてー

◆出会い・結婚を支援

- 特になし

◆切れ目のない子育て支援

- 特になし

◆次世代を担う人材育成

- 自己の学習状況に肯定的な児童の割合について強みにするため、数字の裏付けが必要。
- アンケートの中身について考察し、数字の要員を分析することで自己の学習状況について高い数字を維持していくことが、学力的に保証できる教育ができているというエビデンスとなり町の強みとなる。数字の裏付けの「見える化」を図りたい。

◆安心の保健医療体制づくり

- 特になし

◆高齢者の暮らし

- 継続的な事業実施を中止

ー基本目標Ⅲ 産業振興により活力と雇用を生み出すまちづくりー

◆新たな事業の創生

- 商工会で奥大山ブランド事業を進めている。新たな特産品の誕生が期待できる。
- 県外から来られた方、女性の起業かも見られる。起業の補助金は有効。
- 従来企業の誘致をし、雇用を作るという考えからの転換も必要だと思われる。

◆農業の振興

- 集落営農法人が自立していくための支援の継続を図りたい。
- 集落営農法人が取り組まれている「ピーマン」が特産品になることも考えられる。付加価値をつける取り組みを検討されたい。
- 営農組織増加の要因分析を図りたい。
- 施策推進にあたって、大学等との連携も検討されたい。

◆産業の振興

- 数年続いている地域振興券は有効である。
- 町内の資源を活かした観光の推進を図りたい。

◆就労支援の推進

- 資格取得支援は有効であった。引き続き支援されたい。
- 小さな起業の支援で就労につなげられたい。